

新型コロナウイルス感染症予防接種を受ける前に

予防接種を受ける際は、予防接種の意味や副反応などをよく理解し、医師とも相談したうえでお決めください。十分に納得できない場合は、接種を受けないでください。



新型コロナウイルス感染症について

「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)」による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。予防接種を受けることによって、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の症状の重症化を予防する効果があります。

予防接種を受けることができない人

該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人(※1)
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症(※2)の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

※1 明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

※2 アナフィラキシー(急性のアレルギー反応)や、全身性の皮膚・粘膜状態、喘息、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑われる複数の症状。前回までの接種でこれらの症状が認められた人は、同一の成分を含むワクチンを用いた追加接種を受けることはできません。

予防接種を受けるにあたり注意が必要な人

該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

裏面も必ずお読みください➡

予防接種後の注意事項について

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかにお声がけください。
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、倦怠感、発熱、頭痛や関節痛等がありますが、これらの症状はたいてい数日以内で良くなることが分かっています。また、頻度としてはごく稀ですが、ワクチン接種後4日程度の間に胸の痛みや息切れなどの心筋炎や心膜炎を疑う症状が出ることもあります。その他、重大な副反応としてショックやアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、速やかに接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、その健康被害が接種を受けたものによるものであると、厚生労働大臣が認定したときには、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、角田市健康推進課にご相談ください。

問合せ先

角田市健康推進課

受付時間 8時30分～17時15分

電話番号 0224-62-1192

